

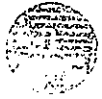




令和 4 年 度

事業報告書

社会福祉法人洛南福社会

| 理事長 | 総施設長 | 施設長 | 施設長 | 施設長 |
|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
管理職

【令和4年度 方針】

法人理念を意識し、目的目標を基に物事を判断することに一貫した。また、情報の発信を法人全体で意識することで、利用者だけでなく、ご家族や地域住民に洛南福祉会の認知度を高める事ができた。

【重点目標】

1. 人材の確保、育成

- ・今年度については、2名のリーダーを副主任へ、1名の副主任を主任へ昇進させることができた。また、総括主任から部長に1名を昇進させる事ができた。しかしながら、次世代の管理職育成の面では、まだまだ課題が多く、意図的に思惑通りの職員を育成することは出来ていない。
- ・会議・委員会や各プロジェクトにおいて、常に目的と目標について指導してきた。また、物事の本質を意識するように指導している。
- ・職員のモチベーションアップを目標に、特養だけに偏らないようにデイサービスに介護職員支援補助金の支給手当を増額した。また、ベースアップ等支援加算についても手当額の増額により待遇改善を行った。
- ・中長期的な人材確保の計画について、人材確保の手段を増やすために、これまで採用実績のない学校へのアプローチや、人材確保プロジェクトを開催しているが、計画は作成できていない。しかしながら、養成校との連携や実習指導の効果により、令和5年度は新卒採用が3名できた。

2. ご利用者の生活の質の向上

- ・認知症ケアについて、コロナの影響の影響がある者の、認知症リーダー研修を1名が修了することができた。認知症デイサービスを中心に、法人内で勉強会を開催した。
- ・ヴィラ向島において、「絆」とブルートゥースで接続できる機器を導入することで、看護業務の効率を上げる事ができた。
- ・コロナ禍でも面会を可能な限り実施し、家族と利用者との安心や繋がりを継続させた。また、SNSなどを活用してご家族への情報の発信の大切さを職員に意識させた。
- ・本質を理解するように意図的に職員をイベント企画させたことで、職員の内

イベントの楽しさを理解することができ、ご利用者の笑顔の大切さに気付くことができた。

3. 地域の安心の拠点となる活動

- ・コロナウイルスが蔓延する中であっても、出来る限り利用できるよう検討実施できた。また、ランランルンルスマイルケアを開設することで、地域の認知症介護の中心となるよう学術的な根拠に則った認知症ケアを行っている。
- ・事業毎に感染が落ち着いている時期や終息後にイベントが実施でき中止でなく、延期などで実施できたことは評価できる。また、お誘い頂いた地域のイベントや会合については、出来る限り参加するなど最低限の活動は行っている。向島祭りやたんぼラグビー、体操教室などの地域事に参画できた。

4. 経営の安定

- ・BCPについて、完成には至っていないが、作成することを目的とせず、中身を検証し課題を出し合い、実際に行動できる内容にするための作業中。
- ・ランランルンルスマイルケアの運営について、開設から1年間で、予定よりも稼働を上げる事が出来なかったが、コロナの影響を考えると、今後の稼働率には期待ができる。また、営業活動の成果として、各事業所のケアマネに認知症対応型通所介護を認知されたことで、問い合わせが増加した。
- ・ご利用者へのアンケートは行えているが、それに対する答えが不十分。食事については、全ての利用者の声にこたえられるように修正している。
- ・稼働率についてはコロナの影響もあり、高稼働にすることが出来なかった。もっと掘り下げた分析を行い、対応策をより具体的に考える必要があった。今後の指導については、更なる分析が必要になる。

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

コロナウイルスが蔓延した中でも利用者の1番の楽しみである食にはこだわりを持ち、提供できる方法を常に考え実行し笑顔を引き出すことが出来た。その様子をSNSや面会時に家族へ発信することが出来た。

【令和4年度の取り組みについて】

1、愛あるサービスの提供

- ・ご利用者がいつまでも自分らしくいられるよう、ツールを活用し改めて生活背景の情報収集を行った。担当職員それぞれに行ったケアはあるが、可視化できていない為、令和5年度個別援助計画を作成し、「見える化」していく事となった。
- ・SNSの投稿も定期的に行うようになった。行事、お誕生日のお祝い写真や動画は、面会時やLINEの機能を活用した事で笑顔を届ける事ができた。
- ・コロナウイルス蔓延と職員体勢が安定しなかった事で認知症実践者研修、認知症介護実践者研修への参加はできなかった。

2、食生活の充実

- ・食にはこだわりを持ち、特に、ご利用者の誕生日や誕生月には「特別な食事を提供してあげたい」との思いから、お店を調べ、お店の方にも協力いただき、食事提供方法・形態を工夫することで食べてもらえた。食事提供しながら一緒に祝うこともできた。

3、感染対策

- ・コロナ発生時マニュアルを使用し、上半期(6月)と下半期(3月)に初動訓練を行うことができた。また、訓練実施により改善点がみつきり追加・修正を行った。

4、稼働率について

| 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | |
|-------|--------|--------|--|--------|--------|---|--|
| 平均稼働率 | 92.43 | % | | 平均稼働率 | 93.70 | % | |
| 年間入所者 | 入所 19名 | 退所 18名 | | 入所 12名 | 退所 12名 | | |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

ご利用者の在宅生活と利用中の生活が連続したものとなるよう、アセスメントの段階で居室環境や過ごし方の情報収集を行った。情報を他職種と共有する事で大きな混乱を招く事なく「ヴィラ向島のショートステイなら」と利用していただく事が出来た。

【令和4年度の取り組みについて】

1. 稼働率の安定

・新型コロナウイルスの影響もあり、入退所が止まる事もあったが、特養の空床活用を行い、年間平均 99.1%で稼働する事が出来た。

2. ご利用者へのサービスの質の向上

・環境整備について、特に課題として多くあがっていた内容に関しては、チェック表を作成し活用した。職員の意識は高まってきており、今後も継続していく。

・ショートステイを気軽に利用していただけるよう、アメニティの導入を行い、ご家族の負担軽減に繋げた。

3. 過ごし方の充実

・特養行事に利用日の調整を行い、参加していただく事でご家族、ケアマネジャーから行事に関する問い合わせも増えた。また、SNSを活用しご家族に様子を見ていただく事が出来た。

4. 食事の多様性

・ご利用者の身体状況の把握を行い、その方に合わせた食事形態を提供する事で安心・安全な食事提供が行えた。

・季節ごとに応じた食事やおやつを提供する事により、ご利用者からも「また食べたい」との意見が多く聞かれ、喜んでいただけた。

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【令和4年度 事業報告】

ご利用者の達成感、満足感を向上させるため職員個々の取り組みを実施することができた。特に美容や農園作業については利用者に心地よく感じる環境を提供でき職員、利用者が共同作業できる機会の確保となった。

他施設との差別化や付加価値についてはご利用者の在宅支援を望むご家族のニーズが強く反映され重度要介護のご利用者が増加した。地域での施設の役割を担うことができた。

【重点目標】

1. 人材確保及び人材育成

介護福祉士の合格者を2名輩出できた。離職者も過去5年で0名。新規採用職員を1名。非常勤職員から常勤職員に変更も1名あり人材確保ができた。また、職員の趣味や特技を美容ケアや農園作業に取り入れることで職員のモチベーションアップにつなげることができた。

2. ご利用者の満足度の向上

インスタグラムなどSNSを活用しデイサービスでの取り組み内容や活動の様子について情報発信ができた。農園事業については「育て、収穫し、食べる」といった継続性を活かすことができ、特に「芋ほり」についてはイベント化できた。法人の1日型デイサービスと協力し、ZOOMを活用しレクリエーションを実施することができご利用者の活動の活性化と交流が図れた。

3. 事業の安定化

新型コロナウイルス感染者の影響もあり、全営業日数中6日間営業中止となった。営業活動を強化し、新たな居宅介護支援事業所との関係性を構築し、新規利用者の獲得は年間52名となったが入院や施設入所で稼働率に反映することができなかった。

【稼働率について】

| 令和3年度 | 営業日数 | 312日 | 令和4年度 | 313日 |
|-------|------------|--------|-------|--------|
| | 総利用合計数 | 9412人 | 〃 | 9002人 |
| | 平均稼働率 | 86.19% | 〃 | 82.17% |
| | 平均人数(1日当り) | 30.17人 | 〃 | 28.76人 |

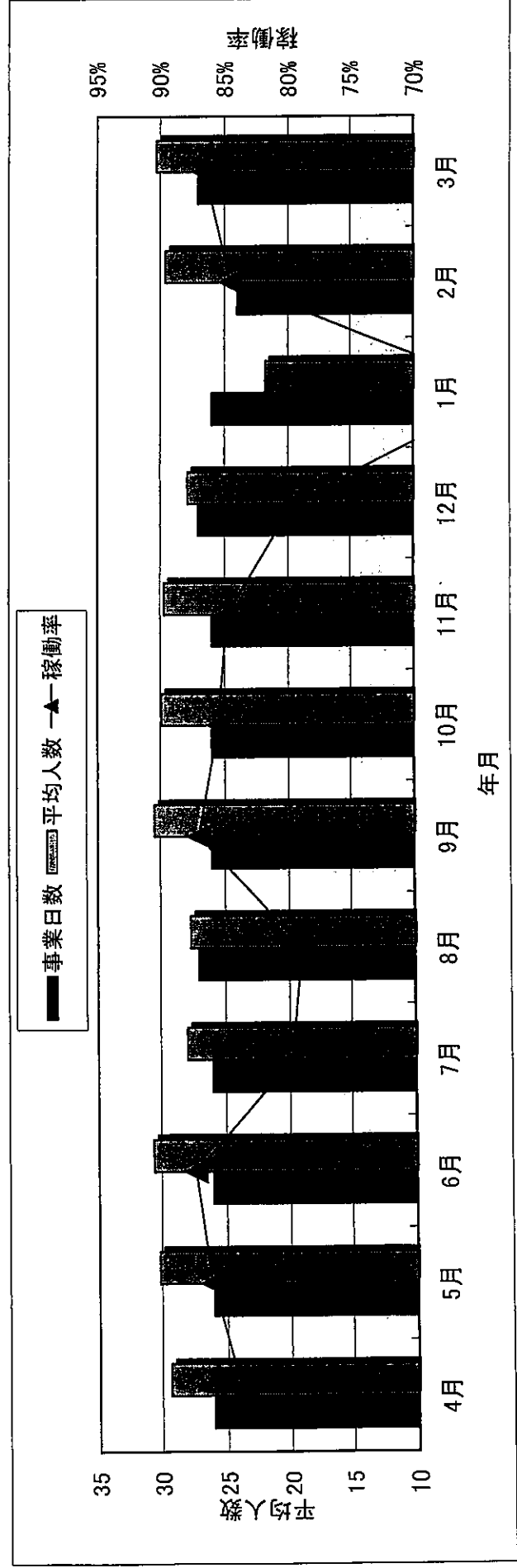
※令和5年1月に営業中止が6日あり。職員及びご利用者に感染拡大し利用制限があり利用数、稼働率に影響した。

令和4年度サービス利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 26 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 24 | 27 | 313 | 26.08 |
| 平均人数 | 29.31 | 30.15 | 30.58 | 27.92 | 27.63 | 30.46 | 29.92 | 29.69 | 27.85 | 21.808 | 29.58 | 30.30 | | 28.76 |
| 稼働率 | 83.74% | 86.15% | 87.36% | 79.78% | 78.94% | 87.03% | 85.49% | 84.84% | 79.58% | 62.31% | 84.52% | 86.56% | | 82.17% |
| 合計人数 | 762 | 784 | 795 | 726 | 746 | 792 | 778 | 772 | 752 | 567 | 710 | 818 | 9002 | 750.17 |
| 令和3年度 合計人数 差 | -74 | 0 | -12 | -61 | 66 | -16 | -57 | -64 | -110 | -194 | 61 | 51 | -410 | -34 |

令和3年度サービス利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 27 | 25 | 24 | 27 | 312 | 26.00 |
| 平均人数 | 32.15 | 30.15 | 31.04 | 29.15 | 26.15 | 31.08 | 32.12 | 32.15 | 31.93 | 30.44 | 27.04 | 28.41 | | 30.17 |
| 稼働率 | 91.87% | 86.15% | 88.68% | 83.28% | 74.73% | 88.79% | 91.76% | 91.87% | 91.22% | 86.97% | 77.26% | 81.16% | | 86.19% |
| 合計人数 | 836 | 784 | 807 | 787 | 680 | 808 | 835 | 836 | 862 | 761 | 649 | 767 | 9412 | 784.33 |
| 令和2年度 合計人数 差 | 61 | 26 | 48 | -34 | -148 | -39 | -42 | 27 | 17 | 7 | -56 | -69 | -202 | -17 |



6

令和4年度事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

本年度は職員の確保ができず、2名体制のまま経過し特定業所加算Ⅲの算定ができなかった。稼働については、終了ケースをいち早く判断し向島包括の協力のもと新規を獲得していく事で年間通して70件の目標は達成できた。居宅予防支援会議で内部点検を実施し、運営基準の順守の意識向上が図れた。感染予防、災害時に対応について、BCPを策定する事が出来た。在宅での感染者も多く出たが、適切な機関へのつなげる事で、地域で継続して過ごせるよう支援出来た。

地域のむかいじま祭りに参加、伏見区本所の主任ケアマネ会に役員として参画等、地域活動に参加し、認知度の向上、地域ケアの推進に寄与出来た。

【稼働状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------------------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 居宅介護支援 | 65 | 66 | 68 | 71 | 73 | 75 | 74 | 73 | 71 | 72 | 69 | 70 | 847 |
| (内訳) | 要介護1(件) | 16 | 20 | 18 | 20 | 22 | 20 | 18 | 18 | 16 | 17 | 15 | 15 |
| | 要介護2(件) | 30 | 29 | 32 | 33 | 31 | 35 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | 33 |
| | 要介護3(件) | 10 | 8 | 10 | 9 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 11 |
| | 要介護4(件) | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 9 | 9 |
| | 要介護5(件) | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 1.5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.5 | 2 | 2 | 15 |
| 総件数 | 66.5 | 67.0 | 69.0 | 72.0 | 74.0 | 76.0 | 75.0 | 74.0 | 72.0 | 73.5 | 71.0 | 72.0 | 862.0 |
| 介護支援専門員数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 1名当たりの担当件数 | 33.3 | 33.5 | 34.5 | 36.0 | 37.0 | 38.0 | 37.5 | 37.0 | 36.0 | 36.8 | 35.5 | 36.0 | |
| 入院時情報提供加算 | 3 | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 1 | 6 | 3 | 4 | 1 | 0 | 25 |
| 初回加算 | 2 | 5 | 4 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 23 |
| 特定事業所加算Ⅲ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【認定調査依頼実施状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 単月合計 | 2 | 3 | 0 | 6 | 2 | 2 | 8 | 2 | 7 | 2 | 7 | 5 | 44 |

| | 令和3年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 総件数 | 136.0 | 133.5 | 130.5 | 129.5 | 97.5 | 95.5 | 89.5 | 68.0 | 69.0 | 66.0 | 65.0 | 65.5 | 1145.5 |
| 居宅介護支援 | 126 | 123 | 120 | 119 | 95 | 93 | 87 | 67 | 68 | 65 | 64 | 64 | 1091 |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 10 | 10.5 | 10.5 | 10.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.5 | 54.5 |
| 介護支援専門員数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | |
| 1名当たりの担当件数 | 34.0 | 33.4 | 32.6 | 32.4 | 32.5 | 31.8 | 29.8 | 22.7 | 23.0 | 33.0 | 32.5 | 32.8 | |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヘルパーステーション ヴィラ向島
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【令和4年度 事業報告】

年度初めに、ヘルパーの心得を周知することでヘルパーの役割とは何かを改めて考え、認識するように研修をおこなった。その上で今年度はヘルパー会議で個別検討を実施する機会を多く持つなかで、ひとり一人が責任を持った意見を言うことができ、サービスの見直し等を行うことができた。

【取り組みについて】

① 人材の確保

- ・月1回のSNSの投稿は出来なかったが、今年度はパート職員が1人入職してくれた。また市老協の取り組みですばる高校の学生に協力して頂き、YouTubeを作成しヘルパーの魅力を幅広く発信することができた。
- ・コロナ禍のため、ヘルパーとしての実習生の受け入れはなかったが、他部署に來ている実習生にヘルパーの仕事内容や魅力を伝える機会や例年同様、養成校に授業をする機会を持つことができた。結果としては人材確保に至ってはいないが「ヘルパーの仕事を身近に感じる事ができた」という声を聞くことができた。

② 職員の資質向上

- ・ヘルパー会議で個別援助計画書を理解したうえで個別検討を行うことができたが、自立支援についての研修の実施は出来なかった。
- ・各事業所でヘルパー会議を実施することで、より身近な課題やケア内容を検討したため各自が意見を出しやすくなり、ヘルパー会議が活性化した。

③ 安定した事業運営

- ・新規の受け入れについては常に両事業所で空き枠等の情報共有を行うことで断ることがないように調整することができた。
- ・パート職員が1人増えたが、制限のあるパート職員も多いことから稼働の上昇には繋がらなかった。しかし、人件費を最小限に抑えられるように訪問スケジュールを効率よく調整した。

【令和3年度実績】

利用者件数 向島：4,272件
観月橋：2,901件
金額 向島：20,357,176円
観月橋：15,172,892円

【令和4年度実績】

利用者件数 向島：4,137件
観月橋：2,473件
金額 向島：18,675,412円
観月橋：13,748,578円

令和4年度 ヘルパーステーション勉強会 実績

| 年 | 月 | 勉強会 | 担当 |
|------|-----|----------------------|-------|
| 令和4年 | 4月 | 事故（1回目） | 仲田・田中 |
| | 5月 | 人権・プライバシー個人情報 | 仲田・田中 |
| | 7月 | 認知症 (パーソンセンタードケア) | 山本 |
| | 8月 | 拘束（1回目）・虐待 | 田中・山本 |
| | 10月 | 拘束・事故（2回目） | 仲田・田中 |
| | 12月 | 車椅子での段差介助方法 | 岩谷主任 |
| | 1月 | 褥瘡 | 仲田・田中 |
| 令和5年 | 2月 | コミュニケーション | 観月橋 |

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 洛南福祉会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【令和4年度 方針】

洛南福祉会の法人理念である「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」に基づき、年間を通して基本方針に沿った活動を行う事が出来た。『自由で明るい生活の場』と『入居者自らが地域社会の場へ積極的に参加できる環境づくり』に関して、コロナウイルスによる制限化の中でも、小規模イベントの開催・出張デパートやボランティアの受け入れなど今できる事を考え実施に繋げることが出来た。

【令和4年度の取り組みについて】

1. 安心で快適な暮らしの提供

○入居者との積極的なコミュニケーションでのニーズ抽出や利用サービス事業所との会話の中で得た情報を絆に落としこみアセスメントシートとして活用した。職員間で情報共有を図ることで職員個々が入居者に何が必要かを考え話し合い、家族またはケアマネジャーへ相談を行うことでサービス導入となりケアハウスでの生活継続に繋げることが出来た。

2. 入居者確保の為に広報活動の実施

○月に1度の地域包括営業は実現出来なかったが、毎月のポスティング実施・新たな事業所（包括・役所）への営業を行うことで問い合わせは増加した。だがケアハウスの理解が乏しく入居対象外の方から相談が多かった。SNSへの投稿を行いケアハウス内での活動を発信しているが、施設見学者からの発言でケアハウス自体の理解が高まったとは実感できないため、ケアハウスのアピール方法に課題が残った

3. 災害・感染症等に対する取り組み

○定期避難訓練を実施し、入居者懇談会で入居者の声を避難訓練内容に反映することで身体状況に合わせた訓練に変えることができた。防災BCPについては雛形作成完了、今後は訓練・研修を行うことで評価と改善を加えていく。また感染症蔓延時には行政との情報共有により円滑な対応が実施できた。

4. 職員の資質向上

○職員個々が入居者にとって何が必要かを考え、職員間で協議することで常に入居者の立場に立って考えることが出来た。また法人全体研修での学びから入居者や家族とのコミュニケーションを積極的にとり情報収集を行うことで、生活背景や環境面を考慮した人権や尊厳を考えることが出来た。

【稼働率について】

| 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|--------|--------|-------|--------|
| 平均稼働率 | 99.83% | 平均稼働率 | 99.8% |
| 平均稼働床 | 49.91床 | 平均稼働床 | 49.91床 |
| ＜実稼働率＞ | | | |
| 平均稼働率 | 91.11% | 平均稼働率 | 93.69% |
| 平均稼働床 | 45.56床 | 平均稼働床 | 46.84床 |

5. 入居者状況について(令和5年3月末調べ)

①年齢別・性別

在籍者50名のうち、男性18名(36%)、女性32名(64%)、昨年の3月と同じ割合ではあるが男性の申し込み者が増加している。

全体の平均年齢は83.44歳、70～89歳が全体の68%を占めている。昨年は60歳代が2名おられたが、今年は0名となっている。

| 年齢 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～94 | 95～100 | 計 | 平均(歳) |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|----|-------|
| 男 | 0 | 1 | 6 | 3 | 4 | 2 | 2 | 18 | 83.39 |
| 女 | 0 | 3 | 7 | 8 | 7 | 6 | 1 | 32 | 83.47 |
| 計 | 0 | 4 | 13 | 11 | 11 | 8 | 3 | 50 | 83.44 |

②今年度の入退去状況(表2)

入居・退居者は共に12名。入居の内、自立の入居者が7名、要支援2名・要介護が3名と自立の方が多くなり、入居者間でのトラブルが増える可能性も考えられる。また、外泊(旅行)される方も増加しておりケアハウス内での環境が変化している1年であった。

紹介会社からの入居は8名・直接入居が4名と紹介会社の力を借りないと稼働率が安定できない状況であったため、令和5年度は、どれだけ紹介会社からの入居数を減らすことができるかが課題。

表2 入退去の状況

| | 入居 | 退去 | 退去内訳 | | | |
|-------|----|----|------|------|-------|-----|
| | | | 死亡 | 在宅復帰 | 他施設入所 | その他 |
| 令和元年度 | 7 | 7 | 1 | 20 | 6 | 0 |
| 令和2年度 | 13 | 12 | 2 | 1 | 9 | 0 |
| 令和3年度 | 8 | 9 | 2 | 0 | 7 | 0 |
| 令和4年度 | 12 | 12 | 1 | 0 | 10 | 1 |

※ その他 (入居者同士のトラブル)

③介護度別状況（表 3）

50 名の内、自立 16 名で全体の 32%、要支援 1・2 が 20 名で 40%、要介護 14 名で 28%となっている。要支援の半日通所リハビリを利用されているケースが増えている。

要介護認定を受けられている方は、ケアハウスでの生活内で目立つ傾向にあり要介護 2 程度のレベルになると退居の流れになる傾向。

表 3

| 介護度 | 自立 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |
|-----|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人数 | 16 | 11 | 9 | 8 | 5 | 1 | 0 | 0 |

6. 年間行事報告

| 開催日時 | 行事内容 | 食事の内容 | 開催場所 | 参加人数 |
|-------------|-----------------------|----------------|---------------------|------------------------------|
| 5月2日 | 青空カラオケ | コーヒー | ケアハウス屋上 | 9名 |
| 5月31日 | 喫茶 | ガトーショコラ | ケアハウス食堂 | 24名 |
| 6月11日 | たこ焼き作り | たこ焼き | ケアハウス食堂 | 20名 |
| 8月7日 | 納涼祭 | バイキング形式 | 食堂フロアー | 納涼祭 36名 演奏会 28名 |
| 9月18日 | 敬老祝賀会 | 松花堂弁当 | ケアハウス食堂 | 祝賀会 44名 演奏会 30名 |
| 11月1日 9日 | 外食ツアー | 懐石料理 湯葉豆腐料理 | 伊勢丹 加賀屋 松井山手 梅の花 | 6名 |
| 11月28日 | クリスマス飾り作成 レーベンデイ合同 | コーヒー | ケアハウス食堂 | ケアハウス 6名 レーベン デイ 6名 |
| 12月24日 | クリスマス会 | ケーキ | ケアハウス食堂 | 31名 |
| 12月30日 | 餅つき大会 | きなこ餅 | 施設中庭 | 29名 |
| 3月5日 | 寿司パーティー | にぎり寿司 | ケアハウス食堂 | 31名 |
| 3月21日 | すばる高校定期演奏会 | なし | 文化パルク城陽 | 8名 |

定期行事

毎月：買い物ツアー
カラオケ/コーヒーの日
年4回：季節の食事

サークル活動

新型コロナウイルスの感染予防対策の為
ボランティアの受入れを中止。
サークル活動は休止。

コロナウイルス感染症蔓延による行事中止

12月：クリスマス会・もちつき大会
1月：元旦・新年会

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福社会
元源深草

法人理念を意識し、職員間で助け合えた一年であった。また、心地よくつろぎの空間や入浴サービス、喫茶や食べ物等の楽しみを提供することができた。

【重点目標】

1. 人材の定着・育成

- ・下半期、人員不足もあったが、職員間でコミュニケーションを密にとり、新たな退職者を出す事もなく営業を行う事ができた。また、優先順位を共有し、効率的かつ満足して頂ける対応を実践する事ができた。
- ・法人の介護ランク制度基礎ランク合格まで至らなかった。次年度は基礎ランク全員合格を目標にする。

2. ご利用者にとっての「楽しみ」を追求する

- ・入浴特化の通所介護として、今年度は温泉シーズを中心に毎月3回かわり湯を実施することができた。ご利用者からも「ここのお風呂は最高」「ここで入ったらもう他では入れへん」と喜びの声を多数聞けた。
- ・「ご当地スイーツ」「～ほっとひと息～ちょこっとお菓子週間」や週替わりの限定喫茶メニュー等、ご利用者が自ら選択する楽しみも提供できた。
- ・入浴以外の時間は、体操・脳トレ・塗り絵・手芸・季節製作等ご利用者の趣味活動の幅を広げる事ができた。

3. 地域連携の維持・拡大

- ・運営推進会議の書面開催や近隣事業所の会議などを通して地域や関係機関と情報を共有することができた。
- ・コロナ禍でも地域の小学校と交流する事が出来た。

4. 稼働率93%以上を目標に、ご利用者獲得と運営の安定

令和5年3月末時点での登録数は次の通りである。

登録数 84名・新規登録者数 34名

法人内居宅介護支援事業所 11名・法人外居宅介護支援事業所 27事業所 55名

地域包括支援センター8事業所 18名

- ・入院者が年間を通して月平均9.6名と前年度より2.7名増え、廃止が37名と前年度より13名増えた。ご利用者の入れかわりも多かったが、継続して新規獲得を行えた。入院者の状況確認や空き状況の情報提供等、ケアマネジャーと日々連携をとり、上限まで登録を維持していくことが今後も課題である。

【稼働率について】

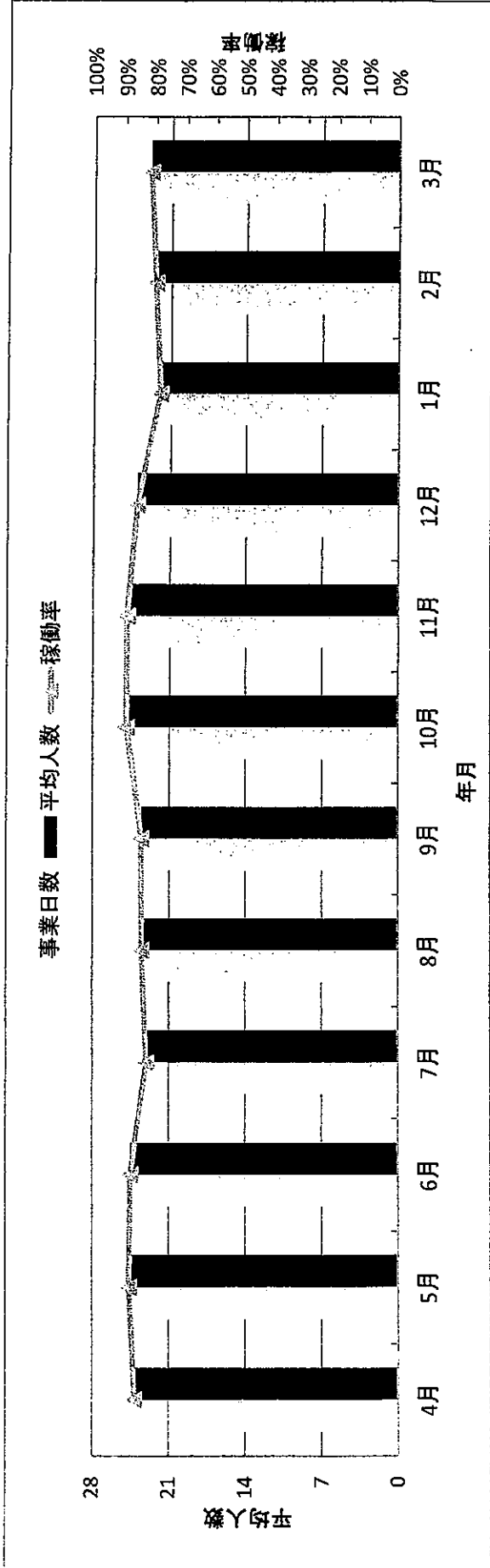
| | 令和4年度 | 令和3年度 |
|-------|--------|--------|
| 平均稼働率 | 84.71% | 86.31% |

令和4年度 元源深草 利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|---------------|
| 日数 | 21 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 20 | 23 | 261 | 21.75 |
| 平均人数 | 24.14 | 24.64 | 24.55 | 23.05 | 23.52 | 23.55 | 24.95 | 24.91 | 24.05 | 21.95 | 22.40 | 22.91 | | 23.72 |
| 稼働率 | 86.22% | 87.99% | 87.66% | 82.31% | 84.01% | 84.09% | 89.12% | 88.96% | 85.88% | 78.41% | 80.00% | 81.83% | | 84.71% |
| 合計人数 | 507 | 542 | 540 | 484 | 541 | 518 | 524 | 548 | 529 | 483 | 448 | 527 | 6191 | 515.92 |
| 3年度 合計人数 差 | 16 | 58 | 10 | -39 | -9 | -45 | 6 | 3 | -54 | -25 | -12 | -30 | 上半期 85.38% | 下半期 84.03% |

令和3年度 元源深草 利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 23 | 21 | 20 | 23 | 261 | 21.75 |
| 平均人数 | 22.32 | 23.05 | 24.09 | 23.77 | 25.00 | 25.59 | 24.67 | 24.77 | 25.35 | 24.19 | 23.00 | 24.22 | | 24.18 |
| 稼働率 | 79.71% | 82.31% | 86.04% | 84.90% | 89.29% | 91.40% | 88.10% | 88.40% | 90.53% | 86.39% | 82.14% | 86.49% | | 86.31% |
| 合計人数 | 491 | 484 | 530 | 523 | 550 | 563 | 518 | 545 | 583 | 508 | 460 | 557 | 6312 | 526.00 |



令和4年度事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

本年度は退職1名があり、令和4年10月から特定事業所加算Ⅲの算定ができなくなった。
稼働については、職員の速やかな補充が叶わなかったため、法人内での移管を優先的に実施する事で外部への移管を最小限に留める事により2人体制での下半期は、平均稼働70件と目標達成は出来た。
居宅予防支援会議で内部点検を実施し、運営基準の順守の意識向上が図れた。併設事業所と防災委員会を立ち上げ、BCPを策定し、感染者が発生した場合も協力し感染拡大に防止出来た。
伏見区本所、深草地域でネットワーク構築のため、役員として活動し、事業所の認知度向上、地域包括ケアの推進に寄与した。各職員とも日常的にスーパービジョンを実施し、個別の資質向上が図れた。

【稼働状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------------------|---------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 居宅介護支援 | 99 | 99 | 98 | 97 | 89 | 69 | 68 | 65 | 66 | 67 | 66 | 67 | 950 |
| (内訳) | 要介護1(件) | 28 | 25 | 26 | 26 | 23 | 20 | 19 | 19 | 21 | 20 | 19 | |
| | 要介護2(件) | 42 | 43 | 42 | 41 | 38 | 30 | 30 | 28 | 27 | 31 | 30 | |
| | 要介護3(件) | 17 | 17 | 16 | 16 | 13 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 8 | 10 |
| | 要介護4(件) | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 7 | 7 | 6 | 7 | 5 | 6 | 5 |
| | 要介護5(件) | 2 | 3 | 3 | 4 | 5 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 5 |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 11.5 | 11 | 11 | 9.5 | 6 | 5.5 | 5.5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 85 |
| 総件数 | 110.5 | 110.0 | 109.0 | 106.5 | 95.0 | 74.5 | 73.5 | 70.0 | 71.0 | 72.0 | 71.0 | 72.0 | 1035.0 |
| 介護支援専門員数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 1名当たりの担当件数 | 36.8 | 36.7 | 36.3 | 35.5 | 31.7 | 24.8 | 36.8 | 35.0 | 35.5 | 36.0 | 35.5 | 36.0 | |
| 入院時情報提供加算 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 |
| 初回加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 特定事業所加算Ⅲ | 99 | 99 | 98 | 97 | 89 | 69 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 551 |

【認定調査依頼実施状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 単月合計 | 2 | 14 | 4 | 7 | 6 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 44 |

| | 令和3年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------------------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 総件数 | 92.5 | 94.0 | 95.5 | 89.5 | 94.0 | 91.0 | 94.0 | 104.0 | 106.0 | 107.5 | 105.0 | 109.5 | 1182.5 |
| 居宅介護支援 | 86 | 88 | 89 | 83 | 85 | 82 | 85 | 94 | 96 | 97 | 95 | 99 | 1079 |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 6.5 | 6 | 6.5 | 6.5 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10.5 | 10 | 10.5 | 103.5 |
| 介護支援専門員数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 1名当たりの担当件数 | 30.8 | 31.3 | 31.8 | 29.8 | 23.5 | 30.3 | 31.3 | 34.7 | 35.3 | 35.8 | 35.0 | 36.5 | |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ランランルンルスマイルケア

【令和4年度 事業報告】

認知症の方が「まだまだやれる」「自分の居場所」と感じていただける通所サービスを方針としてご利用者の BPSD の予防、改善に取り組み他事業所では受け入れ困難なご利用者でも居場所を提供することができた。

地域ケア会議、むかいじま健康くらぶなど当事業所から地域に飛び込み地域に開かれた事業運営が行えた。

【重点目標】

1. 認知症ケアの追求

勉強会を月1回実施しご利用者の思いに寄り添うケアに繋げることができた。他事業所との交流会、まあいいかカフェなど外部で認知症の方への支援を学ぶことができた。

2. ご利用者の「できること」の維持、「役割」の獲得、「認知症」の緩和

現実見当識訓練(ご利用者の認識と現実を繋ぐ作業)を実施したことで介護拒否・無気力などの改善が見られ混乱なく利用に繋がるご利用者が増えた。食事の準備・後片付けなどの家事作業、諦めていた趣味活動(カメラ・菓子作り)の再開をサービス提供したことにより認知症の進行緩和ができた。また、ヴィラ向島デイサービスの BBQ・芋ほりイベント、農作業に参加しご利用者、職員の交流ができた。

3. 地域との関係構築

運営推進会議の開催・SNS を活用した活動の発信を行い認知度の向上を行うことができた。宮本ファーム様での田植え体験・地域ケア会議・向島まつり・月1回のきらめき体操など地域との関係構築の基盤を作ることができた。

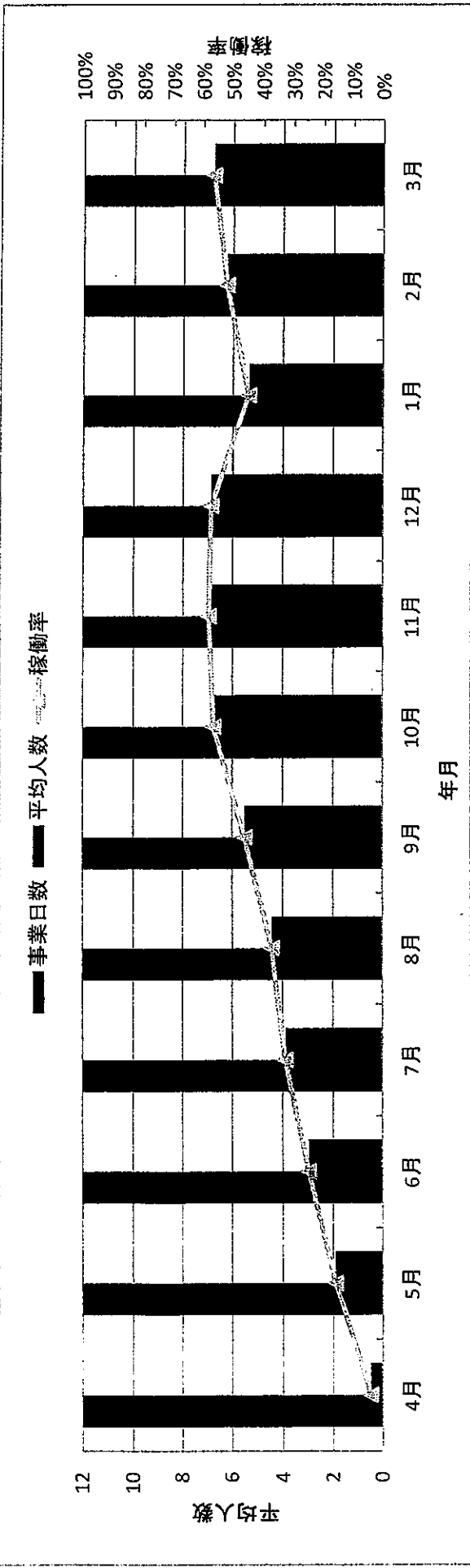
【稼働率について】

| | | |
|-------|------------|--------|
| 令和4年度 | 営業日数 | 261日 |
| | 総利用合計数 | 1269人 |
| | 平均稼働率 | 40.42% |
| | 平均人数(1日当り) | 4.86人 |

開設初年度で登録率76%埋めることができた。目標平均60%の稼働には届かなかったがサービス提供、営業活動を通じて次年度に繋がる事業運営ができた。

令和4年度 ランランインルンスマイルケア利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 21 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 20 | 23 | 261 | 21.75 |
| 平均人数 | 0.48 | 1.91 | 3.00 | 3.90 | 4.43 | 5.50 | 6.76 | 6.95 | 6.86 | 5.36 | 6.25 | 6.78 | | 4.86 |
| 稼働率 | 3.97% | 15.91% | 25.00% | 32.54% | 36.96% | 45.83% | 56.35% | 57.95% | 57.20% | 44.70% | 52.08% | 56.52% | | 40.42% |
| 合計人数 | 10 | 42 | 67 | 82 | 102 | 121 | 142 | 153 | 151 | 118 | 125 | 156 | 1269 | 105.75 |
| R年度 合計人数 差 | | | | | | | | | | | | | | |



令和4年度 事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

本年度は、昨年に続き感染対策を講じながら地域支援事業を実施できた。新たに旧向島南小学校跡地で毎月1回介護予防の「きらめき体操」の実施や地域の医療機関やサービス事業所と協働して「むかいじまつり」に参加し、地域住民に介護予防の啓発活動に取り組めた。

介護予防支援については、新規依頼を受けて1週間以内に連絡、訪問を意識して対応できた。昨年度より件数は160件増加し、介護保険の申請代行は昨年より1.1倍に増加した。

居宅・予防支援会議を定期開催し、互いの業務課題の検討や法人内で内部点検を実施し、相互に確認することもできた。

【稼働状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 介護予防支援 | 271 | 276 | 277 | 277 | 271 | 276 | 272 | 276 | 271 | 258 | 266 | 273 | 3264 | |
| 総合事業 | 107 | 108 | 105 | 106 | 109 | 108 | 110 | 110 | 111 | 108 | 111 | 114 | 1307 | |
| 総件数 | 378 | 384 | 382 | 383 | 380 | 384 | 382 | 386 | 382 | 366 | 377 | 387 | 4571 | |
| (内訳) | 委託 | 77 | 84 | 73 | 66 | 66 | 62 | 60 | 62 | 63 | 60 | 58 | 59 | 790 |
| | 初回 | 10 | 9 | 13 | 9 | 10 | 9 | 8 | 13 | 8 | 5 | 16 | 15 | 125 |
| | 委託連携 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | 1 | 1 | 0 | 25 |

| | 令和3年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 介護予防支援 | 250 | 266 | 255 | 260 | 265 | 273 | 278 | 269 | 269 | 267 | 265 | 280 | 3197 |
| 総合事業 | 101 | 96 | 97 | 97 | 101 | 102 | 108 | 107 | 109 | 106 | 104 | 109 | 1237 |
| 総件数 | 351 | 362 | 352 | 357 | 366 | 375 | 386 | 376 | 378 | 373 | 369 | 389 | 4434 |

【新規相談状況】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 総合相談実人数 | 66 | 62 | 73 | 74 | 81 | 62 | 55 | 56 | 62 | 46 | 45 | 52 | 734 | |
| 新規介護認定申請 | 27 | 18 | 20 | 33 | 31 | 36 | 35 | 22 | 22 | 31 | 20 | 24 | 319 | |
| 代行申請()表記 | (19) | (11) | (13) | (19) | (21) | (23) | (16) | (16) | (15) | (21) | (10) | (16) | (200) | |
| (内訳) | 要支援 | 16 | 12 | 12 | 24 | 15 | 22 | 27 | 15 | 8 | 18 | 13 | 19 | 201 |
| | 要介護 | 9 | 6 | 8 | 9 | 16 | 12 | 8 | 7 | 13 | 12 | 6 | 5 | 111 |
| | 非該当 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 |

【地域ケア会議】

| 学区 | 向島 | 向島南 | 二ノ丸 | 二ノ丸北 | 藤ノ木 | 合計(回) |
|------------|------------------------------|-----|-----|------|-----|-------|
| 地域ケア会議(個別) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 地域ケア会議(学区) | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 14 |
| 日常生活圏域 | 秀蓮中学校圏域 1回 向島東中学校圏域 1回 ※書面開催 | | | | | |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

法人理念を具現化するために、入居者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つことを意識し、支援を行った。

【 取組内容 】

1. サービスの質の向上

- ・介護職員から3ヶ月に1回郵送する入居者の近況報告の手紙やLINEで動画や写真を送ることで、アンケートの情報共有の満足度が高く評価された。
- ・施設内で新型コロナが発生していない期間は感染対策を行いつつ、対面での面会を継続させることができた。
- ・入居者のニーズをキャッチする力が不十分だった。ご家族からも情報収集をし「やりたいこと」を実践に結び付けていくことが課題である。

2. 人材の確保、育成、定着

- ・人事考課以外でユニットリーダーと職員が面談の機会を持つことができた。
- ・実習を3校、延べ17名の受入を行い、2名就職に繋がった。
- ・経験年数の浅い職員も実習生を受け入れることで、指導についての意識を持つ事ができた。

3. 稼働率の安定化

- ・特養で空床が出た際にはショートステイの利用を促すことにより、ショートステイと合算で平均稼働率94.37%、目標の94%を達成することができた。
- ・BCPの作成を行い、他部署と協力できるよう情報共有することができた。

4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・運営推進会議や児童館との交流で地域との情報共有を継続することができた。

| | | |
|-----------|--------|--------|
| 【稼働率について】 | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 月平均稼働率 | 92.77% | 91.20% |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

法人理念を具現化するために、ご利用者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで、暮らしの場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、施設内でできるレクリエーションを続け、楽しみのある生活を意識できた。

1. サービスの質の向上

- ・退所時の申し送り表にご利用者の言動を具体的に記入し、イベント等で撮影した写真を添えた事で、より利用中の様子が伝わるよう改善する事ができた。
- ・相談員が事前連絡を行う際に健康状態を確認する事に加え、他サービス事業所間で入退所する際に新型コロナウイルスの情報共有を行い、事前に感染拡大を予防する事ができた。
- ・新型コロナウイルス感染対策の為、これまで好評であったおやつレクリエーションは行えなかったが、少人数で行う工作や手芸のレクリエーションは行うことができた。
- ・ipadを使って絆に写真画像での記録し、皮膚状態や処置内容を情報共有し、医療的なケアの質の向上を図ることが出来た。

2. 人材の確保、育成、定着

- ・経験年数の浅い職員も実習生を受け入れることで、指導についての意識を持つ事ができた。
- ・空床利用のご利用者について、ショートステイと同様のサービスが提供できるよう、新たにマニュアルを作成し特養の職員と情報共有しケアの統一ができた。

3. 稼働率の安定化

- ・特養で空床が出た際には特養相談員と連携し、年間で410日の受け入れを行い、ショートステイ単独でR4年度月平均99.03%。特養と合算で94.37%、目標の94%を達成する事ができた。
- ・BCPの作成を行い、他部署と協力し情報共有することができた。

| | | |
|-----------|--------|--------|
| 【稼働率について】 | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 月平均稼働率 | 99.03% | 95.02% |

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会

レーベン横大路 デイサービスセンター

コロナ禍でもご利用者に「レーベン横大路に行きたい、利用が楽しみ」と思っただけの取り組みを検討・実施できた。

【重点目標】

1. 人材定着及び人材育成

- ・常に人材確保が必要な状況であったが、特に毎日のミーティングの際、意見交換の機会を持ち、思いを共有し下半期は離職者を出すことなく営業することができた。
- ・法人の介護ランク制度基礎ランク全員合格までに至らなかった。次年度は基礎ランク全員合格を目標にする。

2. ご利用者の「やりたいこと」「できること」を大切に

- ・コロナ禍でも行事やイベント、食事提供など等ご利用者の「声」を献立表や活動に取り入れ年間通して対応することができた。年度末には、3年ぶりに作品展を開催しご利用者・職員ともに活動の楽しさと達成感を感じることができた。
- ・職員間で思いを共有化し、基本の振り返りに努めご利用者理解と個別ケアをチームとして対応することができた。

3. 地域連携の維持・拡大

- ・通所5センター会議で営業地域や現状を共有し、新たな事業所へアピールし新規獲得に繋がった。
- ・横大路こども園との企画も元源と共同ででんでん太鼓を製作し、ご利用者の代表が園に伺いコロナ禍でも七夕企画の交流をすることができた。

4. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定

令和4年3月末時点の登録数は次の通りである。

登録数 64名(内新規23名) 平均要介護度:要介護1.9(昨年度要介護度1.8)
法人内居宅介護支援事業所 17名・法人外居宅介護支援事業所 24事業所 56名
包括支援センター3事業所 11名

- ・上半期はコロナの影響、年間通して入院・入所・逝去と廃止ケースが前年度より41名と多い1年であった。上限までの登録維持が課題である。
- ・BCPを作成し、職員全員で「BCPとは」を周知することができた。今後は具体的な内容を理解し、訓練することが課題である。

【稼働率について】

| | 令和4年度 | 令和3年度 |
|---------|--------|--------|
| 年間平均稼働率 | 81.90% | 88.96% |

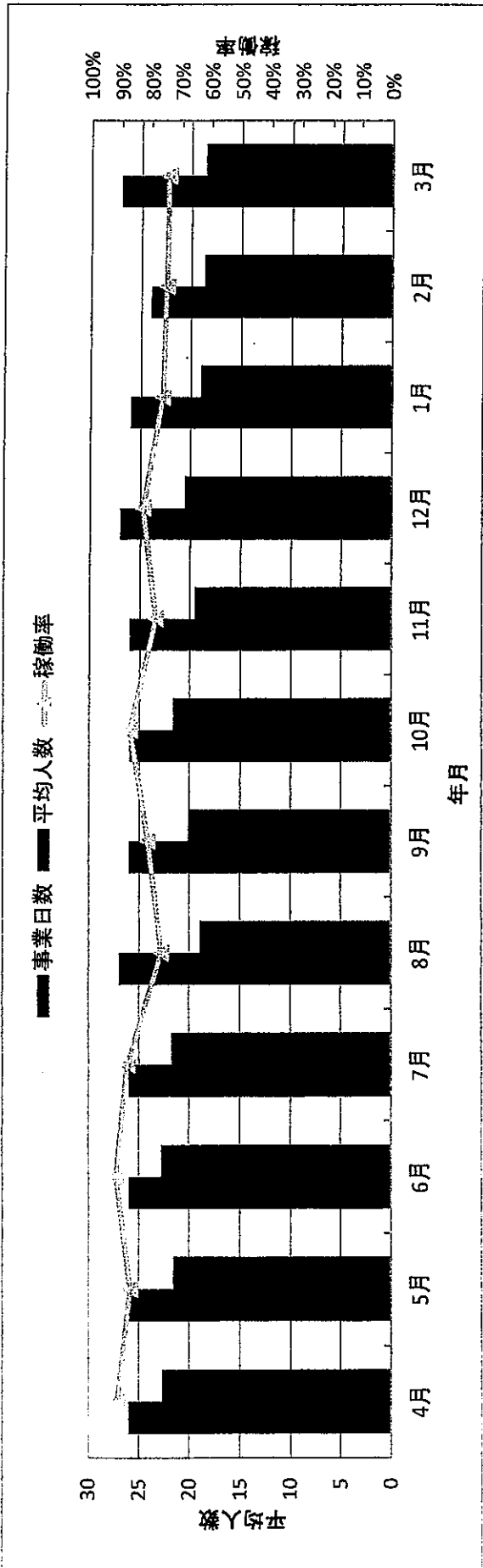


令和4年度 レーベン横大路サイナービス利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 26 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 24 | 27 | 313 | 26.08 |
| 平均人数 | 22.62 | 21.54 | 22.73 | 21.77 | 18.96 | 20.12 | 21.62 | 19.50 | 20.59 | 19.00 | 18.71 | 18.56 | | 20.48 |
| 稼働率 | 90.46% | 86.15% | 90.92% | 87.08% | 75.85% | 80.46% | 86.46% | 78.00% | 82.37% | 76.00% | 74.83% | 74.22% | | 81.90% |
| 合計人数 | 588 | 560 | 591 | 566 | 512 | 523 | 562 | 507 | 556 | 494 | 449 | 501 | 6409 | 534.08 |
| R3年度 合計人数 差 | 29 | 1 | 47 | -28 | -131 | -108 | -38 | -65 | -25 | -50 | -48 | -117 | | |

令和3年度 レーベン横大路サイナービス利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 日数 | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 27 | 25 | 24 | 27 | 312 | 26.00 |
| 平均人数 | 21.50 | 21.5 | 20.90 | 22.00 | 24.70 | 24.30 | 23.10 | 22.00 | 21.50 | 21.76 | 20.71 | 22.89 | | 22.25 |
| 稼働率 | 86.00% | 86.00% | 83.70% | 88.00% | 98.90% | 97.10% | 92.30% | 88.00% | 86.10% | 87.04% | 82.83% | 91.56% | | 88.96% |
| 合計人数 | 559 | 559 | 544 | 594 | 643 | 631 | 600 | 572 | 581 | 544 | 497 | 618 | 6942 | 578.50 |



令和4年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福社会
元 源

ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、各事業者と電話での情報交換を密にし「ご利用者の変化」を丁寧に伝える事でご利用者ご家族・職員との「繋がり」を大切に「笑顔」を引き出すサービスを提供する事ができた。

【重点目標】

1：職員の資質向上

- ・ご利用者理解を深める為、毎日のミーティングでご利用者の小さな気づきを共有する事ができた。毎月の会議は、介護技術の基礎を振り返ることができた。
- ・元源深草と ZOOM での職員交流を行い、それぞれの施設状況や課題について意見交換をする事ができた。今後も情報共有し、継続・連携していけるかが課題である。

2：ご利用者・ご家族との「コミュニケーション」を大切にする

- ・昨年末のご利用者満足度調査の結果や日々の関わりの中で、「おやつが出るのが楽しみ」との声が多く、敬老イベントや記念日でおやつを提供し、話題作りも兼ねた新たな取り組みを実施することができた。
- ・イベントは偏りが無いよう、年間の日程を決め、1ヶ月の予定を掲示する事で、可視化でき、フラワーアレンジメント・和・洋菓子の日・パンの販売等の楽しみの幅を広げることができた。
- ・ご利用者が休まずに来てもらえる為の皆勤賞の仕組みを導入し、3名達成することができた。

2：地域連携の維持・拡大

今年度は3年ぶりに運営推進会議を対面で開催し、久我の杜地域包括や地域の方々から生の声を聞くことができた。横大路こども園との交流は七夕の笹の御礼に、レーベン横大路デイサービスと協力し「でんでん太鼓」を制作し、ご利用者代表と共に横大路こども園に持参し、短時間での交流をすることができた。

3：事業運営の安定

令和5年3月末時点の登録数は次の通りである。登録数 86名

- ・法人内居宅介護支援事業所 12名・法人外居宅介護支援事業所 21事業所 39名
包括支援センター4事業所 35名

8月以降はコロナ感染や体調不良者が増加し、稼働が安定しない1年であった。

- ・BCPの作成についてはレーベン横大路と情報共有をし、取り組むことができた。

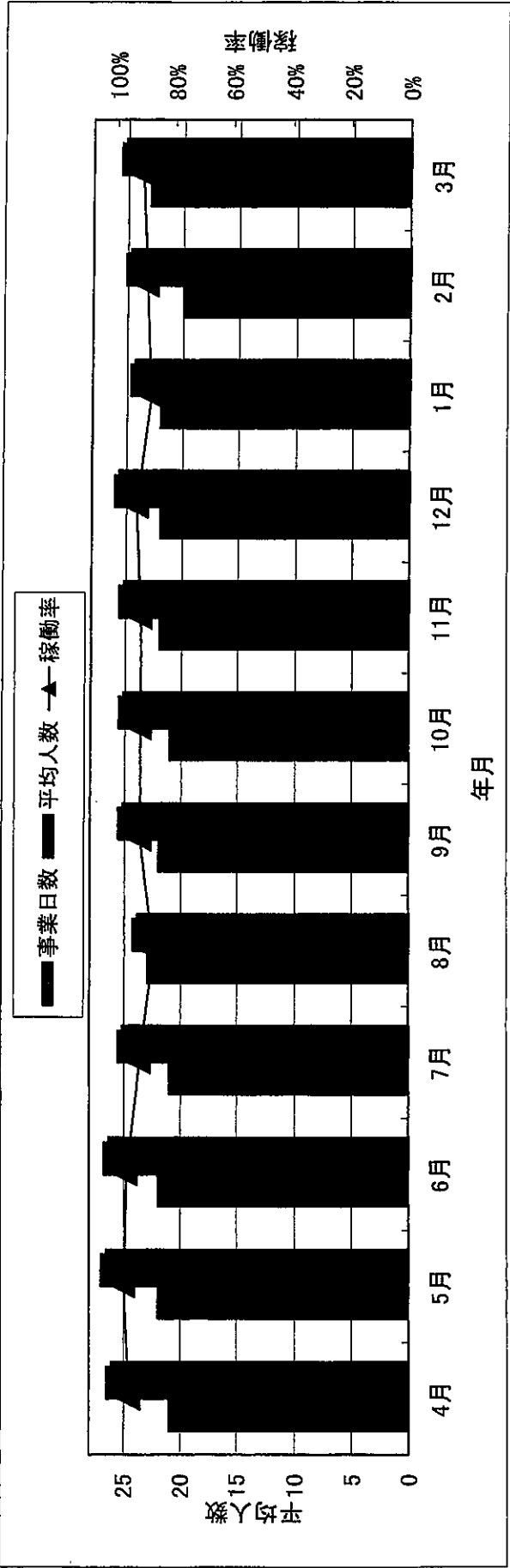
【年間稼働率について】 令和4年度 91.63% 令和3年度 94.02%

令和4年度 元源 利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| 日数 | 21 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 20 | 23 | | 21.75 |
| 平均人数 | 26.48 | 26.95 | 26.73 | 25.52 | 24.26 | 25.55 | 25.52 | 25.55 | 26.00 | 24.68 | 25.10 | 25.52 | | 25.66 |
| 稼働率 | 94.56% | 96.27% | 95.45% | 91.16% | 86.65% | 91.23% | 91.16% | 91.23% | 92.86% | 88.15% | 89.64% | 91.15% | | 91.63% |
| 合計人数 | 556 | 593 | 588 | 536 | 558 | 562 | 536 | 562 | 572 | 543 | 502 | 587 | | 557.92 |
| R4年度 合計人数 差 | -20 | 35 | 14 | -22 | -19 | -45 | -38 | -8 | -47 | 0 | 17 | -20 | | -12.75 |

令和3年度 元源 利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|
| 日数 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 23 | 21 | 20 | 23 | | 21.75 |
| 平均人数 | 26.18 | 26.57 | 26.09 | 26.59 | 26.23 | 27.59 | 27.33 | 25.91 | 26.91 | 25.86 | 24.25 | 26.25 | | 26.31 |
| 稼働率 | 93.51% | 94.90% | 93.18% | 94.97% | 93.67% | 98.54% | 97.62% | 92.53% | 96.12% | 92.35% | 86.61% | 94.25% | | 94.02% |
| 合計人数 | 576 | 558 | 574 | 585 | 577 | 607 | 574 | 570 | 619 | 543 | 485 | 607 | | 572.92 |
| R3年度 合計人数 差 | 76 | 74 | 64 | 29 | 47 | 29 | 19 | 51 | 72 | 43 | -33 | 17 | | 40.67 |



令和4年度事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

本年度は新型コロナウイルス感染防止を図りつつ、社会生活との両立を目指す一年だった。部署内で罹患者が発生したものの、部署内外の協力により、業務を止めることなく遂行できた。結果、年間稼働目標は達成することができた。数値目標を可視化し、前もって受入れ担当者を決めておくことで相談に即応できた。また、資質向上や資格更新の為、外部研修についてはZOOM活用により、効率的に参加できるようになった。地域住民の福祉活動については10月から段階的に再開され、職員を派遣して事業所の周知を図ることができた。法人内連携を図る目的で“居宅・予防支援会議”を定期開催し互いの業務課題の検討や運営状況を“内部点検”により相互に確認することにも取り組んだ。

【稼働状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 平均 | |
|----------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 居宅介護支援 | 133 | 134 | 130 | 131 | 131 | 133 | 128 | 131 | 132 | 127 | 123 | 126 | 129.9 | |
| (内訳) | 要介護1(件) | 29 | 31 | 30 | 29 | 30 | 30 | 31 | 31 | 35 | 34 | 35 | 35 | |
| | 要介護2(件) | 54 | 52 | 52 | 53 | 54 | 56 | 55 | 57 | 53 | 54 | 50 | 53 | |
| | 要介護3(件) | 31 | 33 | 32 | 34 | 34 | 33 | 31 | 30 | 31 | 27 | 26 | 25 | |
| | 要介護4(件) | 10 | 11 | 10 | 8 | 7 | 8 | 6 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | |
| | 要介護5(件) | 9 | 7 | 6 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 10.5 | 10.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.5 | 11.0 | 12.5 | 12.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.1 | |
| 総件数 | 143.5 | 144.0 | 141.0 | 142.0 | 142.0 | 144.5 | 139.0 | 143.5 | 144.0 | 138.0 | 134.0 | 137.0 | 141.0 | |
| 介護支援専門員数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | | |
| 1名当たりの担当件数 | 35.9 | 36.0 | 35.3 | 35.5 | 35.5 | 36.1 | 34.8 | 35.9 | 36.0 | 34.5 | 33.5 | 34.3 | | |
| 入院時情報提供加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 初回加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 特定事業所加算II | 133 | 134 | 130 | 131 | 131 | 133 | 128 | 131 | 132 | 127 | 123 | 126 | | |

【認定調査依頼実施状況】

| | 令和4年度 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 単月合計 | 10 | 9 | 5 | 7 | 10 | 9 | 6 | 8 | 10 | 8 | 4 | 9 | 95 |

| | 令和3年度 | | | | | | | | | | | | 平均 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 総件数 | 140.5 | 138.0 | 140.5 | 143.0 | 146.0 | 143.0 | 145.5 | 146.0 | 148.0 | 141.5 | 142.5 | 142.5 | 143.1 |
| 居宅介護支援 | 127 | 124 | 127 | 130 | 132 | 129 | 131 | 133 | 135 | 129 | 131 | 131 | 129.9 |
| 介護予防支援委託 (0.5人計算) | 13.5 | 14.0 | 13.5 | 13.0 | 14.0 | 14.0 | 14.5 | 13.0 | 13.0 | 12.5 | 11.5 | 11.5 | 13.2 |
| 介護支援専門員数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 1名当たりの担当件数 | 35.1 | 34.5 | 35.1 | 35.8 | 36.5 | 35.8 | 36.4 | 36.5 | 37.0 | 35.4 | 35.6 | 35.6 | |